Monthly Letter

2017年 7月号 Vol.10 ふくいCOC+

地(知)の拠点大学による地方創生推進事業(平成27年度～平成31年度)
『地域創生の担い手を育み活気あるふくいを創造する5大学連携事業』
福井大学・福井県立大学・福井工業大学・仁愛大学・敦賀市立看護大学

文部科学省 地(知)の拠点

COC/COC+シンポジウムを開催

福井大学を責任大学とした県内4年制の5大学と福井県や福井県商工会議所連合会などで組織する「ふくいCOC+事業推進協議会」は7月1日、COC/COC+シンポジウムを開催しました。

地方において人口減が進み、企業の人材確保が困難になる中、採用の在り方を考える契機とするために企画し、企業・自治体・大学等約110団体、200名が参加しました。

基調講演では、横浜国立大学大学院の服部泰宏准教授が「今、求められる『採用力』～神は細部に宿る～」をテーマに、新潟県の製菓会社を一例に挙げ、おせんべいへの愛をプレゼンする「おせんべい採用」など17種類の多様な採用パターンの設定などを紹介されました。「採用の評価には面接官の先入観が入りやすいが、評価を学生にフィードバックして丁寧にフォローし、信頼関係を築くきめ細かな対応が学生の心に響く」と述べました。

多彩な採用パターンが紹介された基調講演

採用に直接関わっている県内企業の方及び大学の就職指導担当者ら5名によるパネルディスカッションでは、社員の採用場面への参加や、イベントによる組織の一体感づくり、内定辞退の一因である親の不安を取り除くための方策など、各企業の具体例の紹介がありました。

ふくいCOC+事業推進協議会では、今回のシンポジウムについて報告書を作成する予定です。

特色_ふくいブランド創出分野WG

山田錦による、「日本酒づくりプロジェクト」 始動！

6月5日、福井大学の学生(学部生、大学院生)と教職員ら、計13名が、吉田郡永平寺町にて、酒米『山田錦』の田植え作業等を行いました。この活動は、酒米となる山田錦を、田植えからはじめ、最終的に大学ブランドの日本酒につくりあげるプロジェクトです。4つのチーム「コメ作り」、「酒造り」、「営業(ブランド構築)」、「デザイン」が、それぞれ活動を行っていくこととしており、7月7日に今後の活動として具体的な売り方、広め方、どんなお酒にするのか等についての意見交換を行い、発表しました。合わせて、知的財産権や商標登録の重要さについても学んでいます。今後、福井大学以外の大学の参加も決まっており、「ふくいCOC+」の日本酒の完成が期待されます。

田植え作業の様子

学生必読

シリーズ 「ふくい地域創生士」

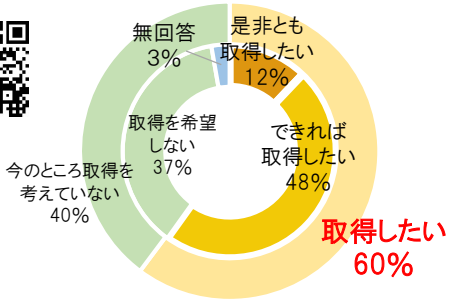
「ふくい地域創生士」認定に向けて、準備を進めていますか？

申請条件として、①3年生であること
②大学で定める地域志向科目12単位を取得していること
③地域でのインターンシップまたはこれに類する活動をしていること、が必須です。詳しくはこちらでチェック。→

吉田コーディネーター

【ちょっこし耳よりなお話し】
ある学生からの質問です。
Q:「ふくい地域創生士の認定を受けることで何かいいことがあるの？」
A:「地域のために一生懸命勉強した努力の証としての称号です。就職活動時にぜひアピールしてください！」

学生の声 「ふくい地域創生士」を取得しようと考えていますか？



※COC＋開講科目(平成29年度前期@Fスクエア)でのアンケートより(276名の内、182名が回答)

インターンシップWG

「インターンシップに積極的な合同企業セミナー」を開催

6月23日福井大学文京キャンパスにて、「インターンシップに積極的な福井県内企業24社参加による企業合同セミナー」を開催しました。学生の夏休み期間中のインターンシップ参加熱が高まる中、今回初めての企画で、COC+参加大学の福井県内5大学の大学院生・学部生を対象に開催したものです。当日は会場がいっぱいとなる約180名の参加があり、内35名が福井大学以外から参加した学生で、お互いに刺激し合ってのオール福井での開催となりました。また、一般の就活生を対象にした合同企業説明会とは異なり、私服姿の学生が多く、ネット情報ではなく、直接企業情報を聞きたいと熱意を持った学生であふれ、緊張感というよりむしろカジュアルな雰囲気の中で行われました。

一方、参加企業の多くが若手職員やOBOGをプレゼンターとして据え、就活前の学生に対して若者目線で自社のインターンシップを熱くPRしていました。

セミナー後アンケートをした結果、学生の満足（やや満足を含む）との回答が全体の98.8%、参加企業は期待以上の成果だったと回答した企業が全体の95.5%と、色々な可能性を模索する就活前の1～3年生に対して福井県企業の魅力を紹介する機会となるとともに、企業にとっても大変有意義なイベントとなりました。

（福井大学　キャリア支援室　大橋祐之室長より寄稿いただきました。）

ワーキンググループによる主なイベント開催案内（8・9月）

高大接続・高大連携・入試改革WG

昨年に続き、8月26日に大学連携センター（Fスクエア）で、平成29年度福井県内5大学合同進学説明会を開催します。行けば、県内4年制5大学がよくわかる！個別相談ブースや模擬講義（要事前申込）を行います。

高校生・保護者の方は、参加自由です。入試担当者と話せ、各大学の特徴を知ることができる機会となります。

当日の詳細はコチラ↓
http://www.shingaku-fukui.jp/

地域志向科目・認定制度WG

8月20日に、ハピリン1F　ハピテラスで県内大学生主催による、音楽交流イベント『MUSIC FRIENDS～音楽から最高の出会い～』を開催します！このイベントは福井県の学生と留学生による市民交流型音楽イベントです。

この企画は、大学連携センター（Fスクエア）において、5大学の共同開講科目「音楽と文化交流イベント製作の実践」を受講している学生が主体となって企画・運営をしています。

特色人材育成部会

9月22日に福井工業大学　福井キャンパスにて、特色人材育成部会発表会が行われます。福井地域の課題に対応し参加大学の強みを活かした6分野（原子力、ふくいブランド、まちづくり、バイオ・六次産業化、国際・地域、看護福祉）から、取組みを発表します。学生、一般の方も参加できます。詳細については決定次第、ホームページ・Monthly Letterでご案内します。

編　集　後　記

猛暑日が続いています。我々の事務局は大学に居を構えており、猛烈に暑い日も、「集中制御」というロックがかかり、冷房が突然停止することもあり汗だくです。2017年の夏は「羽毛布団を2枚来たような状態」とTVで耳にしましたが、チベット高気圧と太平洋高気圧の「ダブル高気圧」で、スーパー猛暑日となるようですね。局地的な豪雨で被害が出ている地域もあります。福井も平成16年に水害があったと聞きました。福井という地域の、特性を理解し発展させるには、「風土」を理解することも、実は重要なファクターなのだなと感じます。日本の四季を楽しめる余裕を持ちたいものです。（大林）

〔発行者〕福井大学総合戦略部門COC推進室
〒910-8507　福井市文京3丁目9番1号　Tel:　0776-27-9945　E-mail:　coc-p@ml.u-fukui.ac.jp